

神戸市地域機能支援強化事業

社会福祉法人 神戸市社会福協議会 たかとり障害者相談支援センター
〒654-0024 神戸市須磨区大田町 7 丁目 3-15 須磨在宅福祉センター内

助成事業の概要

開催目的：障害の有無にかかわらず人格と個性を尊重し、多様な個性が輝く地域共生社会の実現に向けて、地域住民や福祉従事者に障害理解の推進・継続を目的としています。

時期：2022 年 2 月 5 日（土）14：00～16：00

開催場所：須磨パティオ健康館 パティオホール

内容：近年自分の性に違和感を持つことから色々悩み、心身不調をきたすという悩みの相談も多数寄せられています。講師の清水 展人氏は女性として生を受けるが幼い頃より自分の性に違和感を抱き一人悩み、18 歳の時に性同一性障害と診断されました。自分自身を受け入れること、他人に心を開くこと、親との葛藤など悩んだすえに「自分らしく生きる」ことを選択、裁判所で氏名、性別の戸籍変更を行い、現在は非営利型一般法人日本 LGBT 協会代表理事として、学校関係者等社会に向けて啓発活動を行っています。多様な個性が認められ、「自分らしく生きる」ことができる地域共生社会の実現に向け、清水氏の体験を踏まえて地域住民や福祉従事者にお話しいただきました。

事業の成果

1. 講演会参加者は 84 名。
2. 参加者の内訳としては、地域住民、学校関係者、学生、相談支援専門、障害福祉施設職員、社会福祉協議会職員、福祉団体関係者等でした。

3. コロナ禍での開催ではありましたが、参加者の間隔を広く取り感染対策を徹底して開催しました。

質問は事前に受付け講演の中で答えていただくようにし、当日の質問はスマートフォンを活用した SLIDO で受けつけるなどアフターコロナを見据えた工夫をすることで実施いたしました。

4. 清水氏からは性同一性障害についてのことや、ご自身が幼いころから自分の性に違和感を抱きながら誰にも相談できず苦しんだ末に、自分を受け入れ「自分らしく生きる」ことを選択され、現在は性同一性障害についての広報をされるようになった経緯や、そのことからどのように個々の個性を受け入れ支えあいの地域づくりにつなげていくか、また地域共生社会に求める気づきをお話し頂きました。

熱心にメモを取りながら話を聞かれている方も多く、参加された方からは学校で困っている学生にどのように声掛けをすれば安心できるのか、安心できる教育と学校を作っていかなければならないと強く感じたとの意見も頂きました。障害や LGBT だけでなく、外国籍の子、ステップファミリーなどいろいろな人の個性を認め合い、個性が輝く地域共生社会の実現に向けて考えるきっかけになったと思える講演でした。

成果の広報・公表

当日はケーブルテレビや新聞の取材もあり、講演会の様子を記事にさせていただきました。

神戸市内の障害者相談支援センターの連絡会で

も報告をしております。

成果及び課題を共有することで、障害者の地域移行の推進及び地域生活の継続支援が可能となる地域共生社会の実現に向けた活動に役立てていきたいと考えます。

また当法人のホームページのブログでも講演会の開催情報及び実施報告を行いました。

今後の展開

神戸市地域支援機能強化事業では、入所施設・病院などから地域移行・地域定着を推進していくことを目的としています。そのためには安心して生活できる場・地域が必要となります。そのためには地域に障害に対する理解の啓発を行っていくことは必要不可欠であると思います。最近、性に違和感を覚えている方からの相談も増えてきました。今回、貴団体の助成を受けて、清水氏に講演頂いたことで自分自身を受け入れることや社会生活でしんどさを抱きながらいる人たちの思いを少し理解することや、そういう思いを持っている人たちも認め合える社会づくりについて考えるきっかけになったと思います。今回教育関係の方が多く参加して頂けました。教育現場で LGBT への理解を深めようという意識も高まってきているようです。学校教育で個性の輝ける共生社会について取り組んでいただけることで、将来みんなが理解しあえる社会が築けるのでは感じています。

今後もみんなが認め合える共生社会の実現に向けて地域とのつながりを大切にしながら啓発していければと考えています。